

平成30年度 静岡大学人文社会科学部
夜間主コース社会人入試試験問題
[第2期]

経済学科 [小論文] S2K

平成30年2月24日(土)
10時00分～11時30分

注意事項

1. 解答始めの合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
2. 解答始めの合図の後、下段に記載の枚数のとおり問題冊子・解答用紙・下書き用紙があるか確認してください。
3. 解答を始める前に、解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。解答用紙に氏名を記入してはいけません。
4. 試験終了後も監督者が許可するまで退室しないでください。
5. 問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ってください。解答用紙は持ち帰ってはいけません。

問題冊子（この表紙を除く）・・・4枚

解答用紙・・・3枚

下書き用紙・・・3枚

30 S2K

次の文章は、筒井淳也著『仕事と家族』（中公新書、2015年）の一部である。この文章を読み、問1～問3に答えなさい。

（著作権未許諾のため未公開）

(著作権未許諾のため未公開)

(著作権未許諾のため未公開)

(著作権未許諾のため未公開)

出典：筒井淳也著『仕事と家族』（中公新書，2015年），130～144頁。ただし，本文は縦書きを横書きとし，一部漢数字を算用数字に改めた。また，原文にあった小見出しを省き，図番号を改めた。

- 問1 失業問題への対策としてアメリカの自由主義路線と北欧の社会民主主義路線の考え方について本文に即して簡潔に300字以内で説明しなさい。(配点30%)
- 問2 下線部①にある「労働力を縮小する」とはどういうことか，300字以内で説明しなさい。(配点30%)
- 問3 日本が目指すべき「日本型福祉国家」とはどうあるべきか，筆者の見解を踏まえ，あなたの考えを400字以内で述べなさい。(40%)